

1年間の成長を 次の一歩へ



令和7(2025)年度の修了式の日を迎えました。修了式では代表に修了証を渡しました。「修了」という言葉には、その学年での学習しなければならないことを全部修めることができました、という意味があります。

この1年間、毎日の教科の学習、学校行事、生徒会活動、部活動、日々の学校生活の中で、うまくいかない、思うようにできないことを乗り越えながら、一人ひとりがしっかりと成長することができた1年間だったと思います。

さて、3月も下旬になり、日中はとても暖かくなってきました。今年は3月25日が、桜の開花予想日になっています。今年の冬は寒い日があったもののあまり長続きせず、暖かい日も多かったです。そのため、先日お話をした「休眠打破」も平年よりやや弱めだったとみられています。

寒い季節はどうしても背中が丸くなってしまい、視線が下に行きがちです。しかしこれからの季節は木々に色づく花に目が行くようになります。自然と視線は上を向きます。すると、今まで気がつかなかった美しい景色を、楽しむことができるようになります。ぜひ、新しい学年でもたくさんの新しい発見をして、自分の成長につなげてほしいと思います。

さて、先日の卒業式で、「親切」「思いやり」という話題のお話をしました。原稿を考
える中で、宮沢章二さんの「行為の意味」という詩に出会いました。

あなたの心はどんな形ですか
人に聞かれても答えようがない
自分にも他人にも心は見えない
けれど本当に見えないのであろうか
確かに心はだれにも見えないけれど
心づかいは見えるのだ
それは人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の思いは見えないけれど
思いやりは見えるのだ
それは人に対する積極的な行為なのだから
あたたかい心があたたかい行為になり
やさしい思いがやさしい行為になるとき
心も思いも初めて美しく生きる
それは人が人として生きることだ

新入生を迎えてスタートする新学期。皆さんがこの1年で積み重ねてきた力を大きく発揮して、活躍してくれることを楽しみにしています。

おめでとう!

○ 男子バスケットボール部 常翔学園高校杯 優秀選手賞 2年生1名